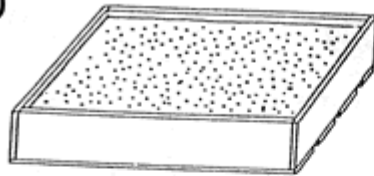


パセリの栽培方法

ビタミンAやCを多量に含む。涼しい気候を好み暑さに弱いので夏まきはさける。育てやすい方で、1度植えておけば1年中葉をつみとって利用できる。よい苗を作って常に一定枚数以上の葉を残しながら収穫することが大切。

苗作り

(その1)



浅い箱に、種を1cmに1粒
ぐらいの割合でばらまきする

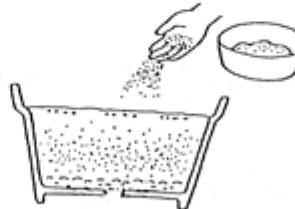


本葉2枚のころ直径9cmのビニール鉢に移植する

(その2)



育苗鉢などに5~6粒
点まきする



パセリのタネは好光性種なので
覆土はごくうすく

本葉2~3枚のころ
1ヵ所3本に間引き



定植 本葉5~6枚になったら定植する
(畑またはプランター)

プランター栽培



用土はあらかじめ石灰を混ぜて中和しておき、
腐葉土を3割くらい混ぜ、タネまき1週間前
に化成肥料を土とよく混ぜておく
乾燥に弱いので注意する
ワラや刈り草を敷いて乾きを防ぐ

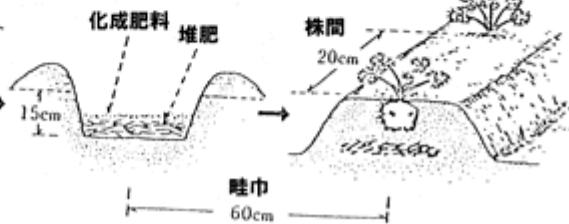
畑栽培

畑の準備



畑にはあらかじめ石灰を
まいて耕しておく

植えつけ



株間
20cm

畦巾
60cm

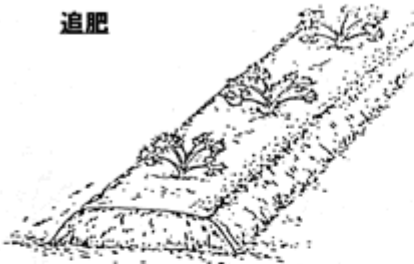
○ 土壌の中和

苦土石灰(土の中和) 1㎡あたり100~200gまいて20cm位の深さによく耕しておく

○ 植えつけ前の肥料(元肥)

1㎡当たり 堆肥 3kg 化成肥料 100g

追肥



20日に1回ぐらい、うねの片側に化成肥料を追肥する

追肥の量 1㎡あたり 化成肥料 50g
油粕 50g

をばらまき、中耕しながら土に混合する

夏の敷きワラ



夏の暑さには弱いので、地温が上がらないよう株元に敷きワラをする

冬の保温



寒さの厳しいところでは、寒冷紗のトンネルで防霜すると、冬でも良い品質のものが収穫できる

収穫



本葉が12~13枚以上になったら、十分ちぢれた下の方の葉から順次つみとって収穫する

1回の収穫は1株から2枚程度にとどめいつも8枚以上の本葉があるようにする



春になり、とうが立ってきたら早めに摘除すれば、葉は小さくなるが収穫期を3~4週間延ばすことができる

○ 病虫害防除

キアゲハの幼虫が多発し、一夜のうちに坊主にされる
ことがあるので、早期発見につとめ、DDVP乳剤の
1000倍液を散布して防除する